

見本



カウンタ・ダイヤルを中央に据え、キャリアとオーディオ・メータを左右に配したメカニカルなパネル面

Feature

電氣的構成とギヤ・メカニズムを見事に融合させた最高級受信機の一つ。すばらしいギヤ・メカニズム、メカニカル・フィルタ4本搭載、デジタル表示ダイヤルなど数々の機構を取り入れた名機。多くのメーカーが製作したが、ユニットごとに互換性があるためメンテナンスが容易。軍用仕様のため使用されている材料も非常に高品位なものが使用されている。現在入手可能だがメンテナンスにはかなりの知識が必要だ。

Specifications

機種名	R-390A
メーカー	COLLINS 他
製造年	1954-1984年
バンド	0.5-32Mc 32BAND
形式	Dual/Triple conv
中間周波数	17.5-25Mc/3-2Mc/455kc
フィルタ	0.1xtal/2/4/8/16kcMech.fil
真空管数	24本, MT管
備考	重量29.5kg

1. はじめに

第2次大戦後の米軍の主力受信機として、

- ・ R-274(SP-600/SX-73)シリーズ
- ・ R-388(51J-1 ~ 4)シリーズ
- ・ R-390(R-389/390/391/392/390A)シリーズ
- ・ 51Sシリーズ

・ シンセサイザ機種

へと変遷する中で、電氣的構成とギヤ・メカニズムを見事に融合させた最高級受信機の一つです。

特に、ユニット交換でメンテナンスが可能なこと、すばらしいギヤ・メカニズム、メカニカル・フィルタ4本搭載、デジタル表示ダイヤルなど、数々の機構を取り入れた名機です。また、軍用仕様であることから、使用されている部品とその材質は素晴らしいもので、現在でも実用機として優れた性能を有しています。